



発行所
三池炭鉱労組組合
大牟田市不知火町2
電話 3333番
編集兼 古賀 徳 耕
発行人
年間600円 送料共

「保安に手放かりはない」「一
れほどの異状にまだ関心を持
日に数回も巡回して、保安の点検
ていなかつた。

進んでも黒煙の中、後退しても黒
煙の中だ。
誰かが叫んだ。「一八八、官
浦連絡道まで、この煙の中を突
破しよう」と。
そう、是が非でもこの煙の中
を突破しなければならぬ。それ
よりほかに道はない。虫ケラと一
緒に死んでたまるか。差別で苦し
められた上に、このようにして殺
す。もう駄目だ。

生まれて五十数年目の可愛い赤
ん坊と、結婚後一年目の愛妻に見
送られながら、眠い夜中に出勤し
た上村君が、それから二時間半後
には帰らぬ人となることは、夢
だにもなかったのだ。

「うまい。実にうまいなあ」と
思った。それこそはずで、その
時は全片坑道をすくって、煙のな
い、すんだ空気を吸っていたのだ
。だからだ。たわけだ。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

自分たちの心の中に 安易さがなかつたか

四山支部 江崎 嘉 徳

黒煙と闘いの記録

生き得たこの喜びを 闘いの「原動力」に

三川・柳田 秀吉

側を歩いている
同僚の姿も、煙で
まったく見えな
い。時々一人取り残さ
れてしまったよう
な気分になり、思
わず足を止める。
「もう駄目だ。息苦しい。
煙はまだ突破できないのか」と。
何時間経過したのだろうか、頭
の中から意識がしだいにうすれて
行く。自分がまだ動けなかつたこ
ろの母のヒザの上で寝た時の時
を思い出した。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「保安に手放かりはない」「一
れほどの異状にまだ関心を持
日に数回も巡回して、保安の点検
ていなかつた。

また自然発火の場合、数週間前
から坑道に異常が生ずるとい
う。この様な状態の中で、二十八
日午前五時三十分、三川鉦坑内
火災が発生したが、その自然発
火について、新聞などに発表し
ていた。夢を
見ているのでは
ないか。そのよ
うな感じがさし
た。黒煙が坑内
の作業を終えて、現場から歩いて
三十分間は着く三五百五十米の
人車乗降場へと歩を進めていた。
あと十分ほどで人車乗降場へ到着
という地点に於いて、異様な匂
いと薄い白煙の流れが、風上から流
れて来るのを認めた。

この時は、腰の時計を思わず
見ていた。時計の針は、五時四十
六分を指していた。数分前軽い気
持でいた私は、一瞬にして恐怖の
底へ突き落とされた感じがした。

三川・柳田 秀吉
「保安に手放かりはない」「一
れほどの異状にまだ関心を持
日に数回も巡回して、保安の点検
ていなかつた。

また三川鉦で
会社はまたまた坑内火災をひき起
した。死者七名、一酸化炭素中毒
患者五百数十名の犠牲者を出す大
惨事を再現したのである。四年前
の「二度と再び繰り返
さない」と誓った会社だったが、
去る七月二十一日の国会で、C
の大火災のあった同じ三川鉦で

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

黙っていれば殺される

組合、六項目を要求

上村さんら再びくり返された災害
七名が死亡

害をひき起した。

死亡者の中には、三池炭組の
一人「上村孝知さん(三十一才)」
がふくまれているが、再度重な
た災害が、会社の人命軽視、おど
ろくべき保安手続の不備によつて
起きた事故であることは明らかで
組合は再び重大化してきたCO中
毒患者を生み出すという、大災

争と闘い結合し、今後坑内火災
原因の徹底的究明、②経営者の責
任追及、③保安対策の確立、④被
災者と遺族に対する完全な援護措
置、⑤今後の災害に伴う諸取り扱
い完全、⑥就労時機は、完全な安
全が確認された場合、労使協議の
上決定せよ。の六項目を要求

また三川鉦で
会社はまたまた坑内火災をひき起
した。死者七名、一酸化炭素中毒
患者五百数十名の犠牲者を出す大
惨事を再現したのである。四年前
の「二度と再び繰り返
さない」と誓った会社だったが、
去る七月二十一日の国会で、C
の大火災のあった同じ三川鉦で

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

主張

CO闘争と結合し 会社の責任追及へ

また三川鉦で
会社はまたまた坑内火災をひき起
した。死者七名、一酸化炭素中毒
患者五百数十名の犠牲者を出す大
惨事を再現したのである。四年前
の「二度と再び繰り返
さない」と誓った会社だったが、
去る七月二十一日の国会で、C
の大火災のあった同じ三川鉦で

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

また三川鉦で
会社はまたまた坑内火災をひき起
した。死者七名、一酸化炭素中毒
患者五百数十名の犠牲者を出す大
惨事を再現したのである。四年前
の「二度と再び繰り返
さない」と誓った会社だったが、
去る七月二十一日の国会で、C
の大火災のあった同じ三川鉦で

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。

「もうこれぞ、なかつたと思
う」と。この言葉は、三川
鉦の坑内火災によって七名の犠牲
者、多数のCO中毒患者をだした
事故当日の夜、テレビ・ニュー
スで、アナウンサーのインタビュー
に答えて、涙ながらに語られた
一遺族(第二組合関係の死亡者の
妻と思われる)の言葉である。私
はこの言葉の中に「自分だけは、
まさか……」という利己的安
易な期待に裏切られた人間の、と
り返しのつかない悲しみと怒りを
感じずにはいられない。